

「長谷川穂積、桃田賢斗、松山英樹を尊敬する」

最近、スポーツで感動したことが3つあった。

まず、ボクシング長谷川穂積のウーゴルイス戦。9R、ルイスのパンチが当たり、長谷川はフラフラになった。気持ちも折れる場面。長谷川はロープを背負ったピンチの場面で一転して猛烈な反撃に出た。次に相手のパンチが当たればきっと負けるという場面で、長谷川はガードを外して猛烈に打って出た。しばらくお互いに激しいパンチを応酬したが、追い詰めていたはずのルイスがついに後退した。ウーゴは心が折れて10Rのゴングが鳴っても立ち上がれなかった。今まで沢山のボクシングの名場面を見てきたが、あんなに魂が震えた事はなかった。ピンチの場面でもめげずに、あきらめずに全力で反撃した長谷川穂積の折れない心を私は尊敬する。

次に、違法賭博問題で謹慎となったバドミントンの桃田賢斗。復帰2戦目で優勝し、コートに倒れこんで号泣。回りからきっとたくさんの非難を受け、どんだけ辛かっただろう。そんな状況でどんだけめげそうになっただろう。きっと孤独だったに違いない。それらに打ち勝っての優勝。あれだけバッシングを受けてから這い上がってきた桃田の孤独に打ち勝つ力を私は尊敬する。

3つ目は、今回全米オープンゴルフで5位になった松山英樹。最終日でいったん首位に出たが結局最後力尽きて5位に終わった。全米で5位、まあ世界で5位だ。凄い事だ。でも優勝できなかったことで、試合後、「ふがない」「これを次に活かしていきたい。何をすれば勝てるのか分からないが、一生懸命練習したい」と言って涙を流した。なんて志が高いんだ。海外で戦うのはそれだけで大変な事だ。彼はそこで1番になれないから泣くのだ。松山英樹の志の高さを私は尊敬する。

こういった選手を見ると自分の頑張りなんて本当に小さい。